入園のあんない

― こども園のきまり ―



令和９年度

社会福祉法人安全福祉会

幼保連携型認定こども園　あんぜんの丘こども園

自然とふれあい、学び育つ
こども園をめざして

教育保育目標　　明るく　正しく　元気な子を育てる

教育保育方針　　１．家庭的な雰囲気づくり

安心して楽しくのびのび活動できるように努める

２．自然とのふれあいを深める

自然への感心を深め、豊かな感性を育てる

３．基本的な生活習慣を身につける

健康的な体づくりと感謝の心、聞く、話す態度を育てる

４．家庭・地域との連携

子育てに関し、園との相互理解を深め、協力を得るように努める

目　　次

１．　こども園はこんなところです　…… １

２．　入園前後の生活指導について　…… ２

　　入園までにお願いしたいこと

　　入園後気をつけていただきたいこと

３．　園（集団）生活をするうえで必要なこと　…… ４

４．　こども園ではこんなことが決められています　…… ５

（１）通園について

（２）用意していただくもの

（３）服装について

（４）保健衛生と安全管理について

５．　保育料とその他諸雑費の納入について　…… ９

６．　園と家庭との連絡について　…… １０

☆教育保育内容　…… １１

☆発達のめやす　…… １６

☆気持ちよく園生活を送るために保護者の方へのお願い　…… １８

☆こども園のいちにち　…… ２０

☆子どもがかかりやすい感染症　…… ２３

☆入園までに用意していただくもの（参考資料）…… ２４

☆園からの「お知らせ」と「お願い」…… ２６

その他施設の見取り図　…… ２８

こども園入園のしおり



　きのうまで家庭の中ですごされていたお子さんが、入園を迎えるにあたり、少しでも園生活に慣れるようあらかじめ保護者の方々にこども園について、ぜひ知っておいていただきたいと思い、このしおりをお届けします。

１．　こども園はこんなところです

　当園は、幼保連携型認定こども園という種別のこども園です。認定こども園とは、「すべての子育て家庭の支援を行う施設」であり、保護者が働いていても働いていなくても利用できる施設です。

　教育･保育を一体的に行う、いわば幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設で、０歳から５歳までの子供が対象です。また、地域の子育て支援も行います。

　幼稚園に通ういわゆる１号認定のお子様も保育園に通う２号・３号認定のお子様も心身の健全な発達を図ることを役割としています。

（１）友だちと仲良く遊べる「心」と「体」をつくるところです。
（２）遊びを通して覚えたり、学んだりしていくところです。
（３）人の物、自分の物等の区別がわかり、物を大切にする気持ちを養うところです。
（４）日常生活、社会生活に必要な「しつけ」や「よい習慣」を無理なく身につけるところです。
（５）地域の人々と一緒に子育てをするところです。

２．　入園前後の生活指導について

入園までにお子様のことを心配すればきりがありません。その中でもお子様が園生活にうまく入っていけるために、特にお願いしたいことだけをあげてみました。

【入園までにお願いしたいこと】

（イ）お子さんの健康状態をしらべてみましょう。

ふだんからお子様の健康状態に少しでも心配のある方は、入園前に医師とよく相談しておきましょう。



（ロ）生活の時間をきちんと決めておきましょう。
入園するまでに次の生活時間を決めておくとよいでしょう。

- 朝起きる時間
- 食事の時間
- おやつの時間
- 遊びの時間
- 夜寝る時間



※特におやつ等は、欲しがるとすぐに与えるのではなく、時間を決めて与えることが大切です。

（ハ）基本的生活のしつけはできていますか。

お子様が保護者から離れて生活をするために困らないよう習慣をつけておくことが大切です。

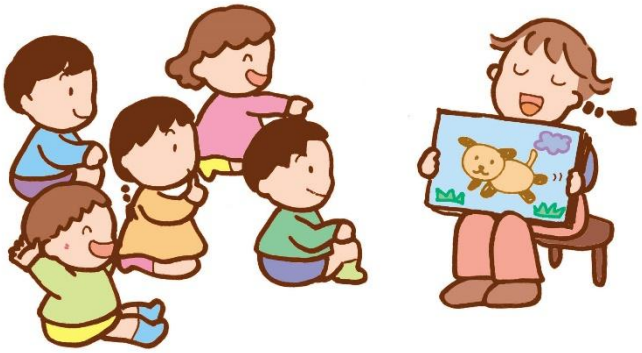


- 食事がひとりでできるようにしておきましょう。
- 排泄のときパンツの上げ下げがひとりでできるようにしておきましょう。
（できるだけ排便は登園前にすませておきましょう。）



【入園後気をつけていただきたいこと】

（イ）　入園すると子どもは気むずかしくなります。
（ロ）　園の様子等は、楽しい夕食の時や入浴の気持ちのくつろいだ時に話しかけましょう。
（ハ）　入園後しばらくすると、登園を嫌がるお子様があります。
その時は、園と連絡をとりながら原因を取り除きましょう。



明るく元気に園へ

送り出しましょう。



３．　園（集団）生活をするうえで必要なこと

（１）　自分の物の区分ができる

　おなじような持ち物がたくさんありますから、自分の持ち物に子どもの目安となるような目印や名前をはっきり書いてわかるようにしておきましょう。



（２）　身支度ができる

・服を自分で着たり脱いだりすることができるようにしましょう。
・手を洗うことや、鼻をかむことができるようにしましょう。
・靴をはいたり脱いだりすることができるようにしましょう。



（３）　会話ができる

　ことばは、集団生活をしていくうえで、もっとも大切なことです。
　入園前まではよく話のできた子どもでも、園生活に入ると口をきかなくなることもあります。家庭内の共通語ではなく、だれにでもわかるような正しいことばで話せるようにしましょう。

・名前を呼ばれたら返事ができるようにしましょう。
・自分のことを「ぼく」「わたし」と言えるようにしましょう。
・自分の名前を言えるようにしましょう。
・……がしたい。……が欲しい。……へ行きたいなど、自分の意思が伝えられるようにしましょう。

（４）友だちと楽しく遊べる

　近くに同じ年齢のお友だちがいたら、十分に遊ばせましょう。遊びの中から自分のわがままを抑えること、人に譲ること、協力することなどを学ばせましょう。
★基本的な態度……「ありがとう」「ごめんなさい」が言えることやがまんができること。

遊びには「けんか」はつきものです。現象面だけとりあげて。相手を悪い子よばわりすることや、「けんか」をしたといって叱ることはやめましょう。





４．　こども園ではこんなことが決められています

（１）通園について

・交通事故から子どもを守るため、保護者の送り迎えで通園することを原則としています。
・登降園の時間を守ってください。

【１号認定の園児】
★登園時間　午前８時 30 分から
☆降園時間　午後２時３０分までに
【２号・３号認定の園児】
★登園時間　標準時間の場合　午前７時３０分から
　　短時間の場合　午前８時１５分から
☆降園時間　標準時間の場合　午後６時３０分までに
　　短時間の場合　午後４時１５分までに

（２）教育保育時間について

【１号認定】
原則として、月曜日から金曜日までの午前８時３０分から午後２時３０分までの６時間内です。（土・日、祝日、夏休み等は除きます。）

※預かり保育
急な用事や就労等の際に、午後２時３０分以降も保育が必要な場合は、週３回を限度として午後６時３０分まで預かり保育が可能です。

※長期休暇について

春休み	３月２６日～４月５日
夏休み	７月２１日～８月３１日（登園日あり）
冬休み	１２月２４日～１月７日

※一時保育

長期休暇中に保護者の都合により、保育が必要となった場合には一時保育が可能です。

【２号・３号認定】

標準時間は午前７時３０分から午後６時３０分までの１１時間

短時間は午前８時１５分から午後４時１５分までの８時間

※欠席や遅刻するとき、また勤務の都合などでお迎えの時間が遅くなる時には必ず園まで連絡してください。

（３）用意していただくもの

※保育用品（園でまとめて購入し、お渡しします。）

０歳～２歳児　出席ノート、出席シール、おたよりファイル
名札、赤白帽子
２歳児・・・パッセル（１６色）、画帳、のり

３歳以上児　出席ノート、出席シール、おたよりファイル、れんらくノート、名札、赤白帽子、パッセル（１６色）、画帳、はさみ、ニューツインペン（１０色）、粘土、粘土ベラ（４点セット）、粘土ケース、道具箱（粘土板付き）、遊び着、園服（スモッグ）
４歳児・・・えのぐ、パレット、絵筆、プロッキー（１０色）

※その他必要な物（ご家庭でご用意ください）

０歳～２歳児　口拭きタオル（小）、おむつ替えシート（２枚）、エプロン、ジプロック、エコバック、ウェットティッシュ、上靴（靴

入)、コップ（袋)、スプーン・フォーク・箸３点セット（２歳児のみ）
布団（敷き、掛け)、タオルケット（２枚)、布団袋、雑巾（２枚)、ティッシュ（１箱)、オムツ（１袋)、おしり拭き、手拭きタオル、着替え、汚れ物袋（スーパーの袋等)、哺乳瓶（月齢により)、水筒、絵本袋

３歳以上児　汚れ物袋（スーパーの袋等)、絵本袋、コップ袋、弁当箱、弁当袋、箸（箸筒)、雑巾（２枚)、コップ、手拭きタオル、水筒、ウェットティッシュ、ティッシュ（１箱)、ハンカチ、ティッシュ、エコバック、上靴（靴入)、着替え
布団一式（３歳児のみ）・・・毎日の上げ下ろし、部屋のスペースの関係がありますので、厚みのあるものや大きいものは避けてください。



（４）服装について

当園では３歳以上児が着る園服のみ決めさせていただき、１０月から５月までその園服で通園していただいています。３歳未満児や、３歳以上児の６月から９月までの夏季期間は特に決められた園児服はありません。活動のしやすいもの、吸湿性のあるもの、前秋のもの、扱いが容易な服を着せてください。用便の自立ができにくいものはさけましょう。また、華美にならないように子どもらしい服装で通園しましょう。

（５）保健衛生と安全管理について

集団生活から受ける精神的な圧迫感や、緊張感からくる疲れのため健康のバランスを崩す子どもがいます。お子様の健康についてはたえず注意してください。

① 病気等について

・毎朝登園する前には、必ずお子様の様子を確かめてから登園させましょう。
・万一期限の悪い時や様子のかわっているときは、保育士に連絡してください。
・発熱があるときや、下痢をしているようなときは休ませるようにしましょう。
・持病（ひきつけ・脱臼・アレルギー・心臓疾患等）のあるお子様は、園

にあらかじめお知らせください。
・伝染性の病気にかかったときは、指示のあった期間は休んでください。場合によっては、園指定医の指示に従って、クラスまたは園全体を閉鎖することがあります。

【登園停止の病気等】



麻しん（はしか）、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、風しん、水痘（水ぼうそう）、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、結核、咽頭結膜熱（プール熱）、流行性角結膜炎、百日咳、腸管出血性大腸菌感染症、急性出血性結膜炎、侵襲性髄膜炎菌感染症（髄膜炎菌性髄膜炎）

※登園の制限のある感染症と診断された場合は、治癒後感染症に関する届出書を提出して、登園を再開することになります。

・こども園で３７度５分以上発熱した場合は、連絡をとりますので至急お子様を迎えに来てください。（緊急時に迎えに来られる方を届けでておいてください。）
・朝の視診等の時に保育士が異常を見つけたときは、休んでいただいたり、降園していただいたりすることがあります。
・下着、頭髪、爪等は常にきれいにしておきましょう。

② 給食について

給食は栄養のバランスを考えた献立で提供しています。

★給食のねらい
・好き嫌いなく食べる
・残さず食べる
・喜んで食べる
・正しい食事の仕方を身につける



子どもには、偏食の激しい子、量の少ない子、時間がかかる子などいろいろあります。園の給食を通して徐々に直していきたいと思いますので、ご家庭でのご協力をお願いします。アレルギー体質で食事の制限の必要があるお子様は、医師の証明書を提出してください。
・毎月の献立は、プリントでお知らせします。
・３歳、４歳、５歳児は、副食費５，１００円（１号認定の園児は４，１００円）を毎月集金します。※市の補助金により減額される場合があります。

・また、主食費については、８００円を毎月集金させていただきます。
（０歳～２歳児は保育料に含まれていますので、集金しません。）

③　午睡について

お子様が園生活に慣れると、活動も活発になり、暑さに向かうと疲れもでます。そこで、毎年７月から８月末まで午後の１時間半程度休息を兼ねて睡眠をとります。（０歳～２歳児は通年）

★準備物・・・敷布団、上用（タオルケット）

午睡の開始を連絡させていただきますので、ご持参ください。

④　災害時について

台風接近のニュース等で、各警報・警戒宣言発令時には、危険な場合がありますのでくれぐれも慎重な対応をお願いします。

なお、各警報・警戒宣言が発令されてもこども園は通常どおり開園しておりますが、気象庁から亀山市にレベル４「危険警報」が発令された場合や、園舎や周辺道路への被害が予測され、教育保育を実施することが危険であると判断される場合は、教育保育を中止し降園の対応をとる場合がありますので、お迎え等ご協力をお願いします。

⑤　その他緊急時の臨時的措置

こども園の運営の都合上、台風、地震、伝染病、施設火災等やむを得ず救援、臨時降園、午前中教育保育の措置をとることがあります。

⑥　緊急のときの連絡について

お子様が病気やケガをしたとき、早急に連絡を必要とする場合があります。勤務先が変わられたり、勤務先から外出されたりする場合には必ずご連絡ください。

⑦　独立行政法人日本スポーツ振興センターに加入します

こども園お子様が安全に生活できるように十分配慮していますが、万一事故等でけがをした場合の治療費は、保護者の負担となりますが、その治療費の額によっては災害共済から規定に基づいて医療費が支給されます。



５．　利用者負担額（保育料）とその他諸雑費の納入について

① 利用者負担額（保育料）

利用者負担額の納付は、手続きいただいた預金口座からの口座振替となります。また、振替日は毎月２５日（鈴鹿農業協同組合は２０日）ですので、預金残高のご確認をお願いします。

※利用者負担額は、前年（前々年）所得により市が決定します。

<u>０歳、１歳、２歳児については、利用者負担額の納付が必要となります。</u>

３歳以上児は、利用者負担額は無償となります。

※園長保育利用料

短時間保育利用の園児が、規定時間以外の時間の保育を利用した場合

午前７時 30 分から午前８時 15 分　１回あたり２００円
午後４時１５分から午後５時　１回あたり２００円
午後５時から午後６時３０分　１回あたり３００円

※預かり保育料金　３００円／日（おやつ代５０円含む）

１号認定の園児を月曜日から金曜日までの１４時３０分から１８時３０分まで保育を行った場合。

※一時保育料金１，０００円／日（給食代含む）

１号認定の園児を夏休み等長期休暇期間に保育を行った場合。

② 諸雑費

諸雑費については、雑費徴収袋をお渡ししますので、翌日にお子様を通じて園へ納入してください。



６．　園と家庭との連絡について

（イ） 園から家庭への連絡は、通信、連絡帳、または電話でしますので、毎日お子様のかばんは必ず見てください。

（ロ） 家庭から園への電話連絡は、午前中は９時３０分まで、午後は４時以降にお願いします。



子どもは豊かに伸びてゆく可能性をもって育っています。

この子どもたちが、よりよい未来を作り出す力の基礎を培うよう、こども園では、０歳から６歳まで、それぞれの発達に応じたいろいろな経験ができるようにしています。

その中には、健康・人間関係・環境・言葉・表現といった要素を教育及び保育の計画に取り入れ、一人ひとりをみつめて発達に応じた遊びや経験を広げ、心と体が健やかに育つように教育及び保育をしています。

《健　康》

健康で安全な生活をするために、必要な基本的生活習慣や態度を身に付けるようにしています。

基本的生活習慣を身につけます

【食　事】

給食では、栄養のバランスがとれるよう十分配慮しています。子どもたちが楽しく食事ができるような雰囲気をつくり、好き嫌いせずに何でも食べられるようにします。



【おひるね】

遊びの疲れをいやし、心身の発達をスムーズにするために、それぞれの年齢に応じて機関や方法を考慮しながらおひるねをしたり、休息をとったりしています。



【清　潔】

手洗い・うがい・歯磨きなどの清潔な習慣を身につけます。



【着脱、排泄】

自分でやりたいという意欲を育てながら、一人ひとりに応じた働きかけをしています。



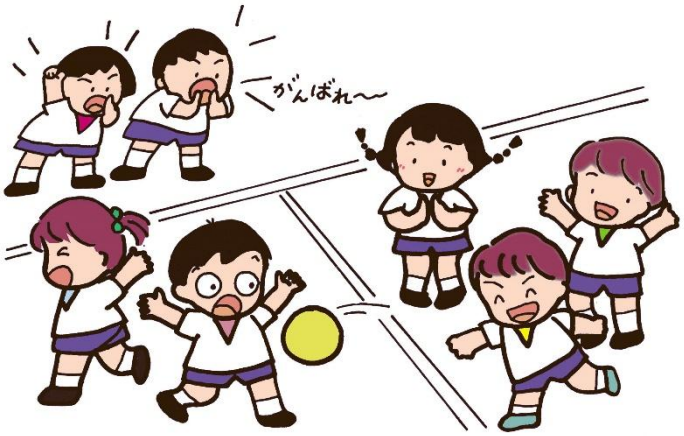
<u>いろいろな遊びの中で十分体を動かします</u>

★散歩

★どろんこ遊び



★体育遊び



《人間関係》

他の人々と親しみ、支えあって生活するためには自立心を育て、人とかかわる力をつけます。





★喜んで登園し、先生や友達に親しむ。
★自分で考え、自分でできることは自分でやる。
★友達と積極的にかかわりながら喜びや悲しみを共感しあう。
★友達と一緒に遊びや仕事を進める楽しさを知る。
★自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しむ。

《環　境》

自然の様子や社会の出来事など、身近な環境に積極的にかかわり、生活に取り入れていこうとする意欲を育てます。



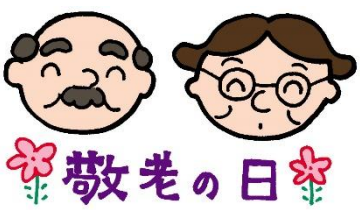
★自然の中で遊んだり、四季の変化を感じたり、身近な動植物にかかわり、生活に取り入れていこうとする意欲を育てます。





★日常生活の中で、数や量や形になどに関心を持つようにする。
★家庭や園、地域などの行事に喜んで参加する。





《言　葉》

経験したことや考えたことなどを話して言葉を使って表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育てます。



★先生の話や友達の言葉に興味と関心を持ち、親しみを持って聞いたり話したりする。

★したこと、見たこと、聞いたこと、感じたことなどを自分なりに言葉で表現する。

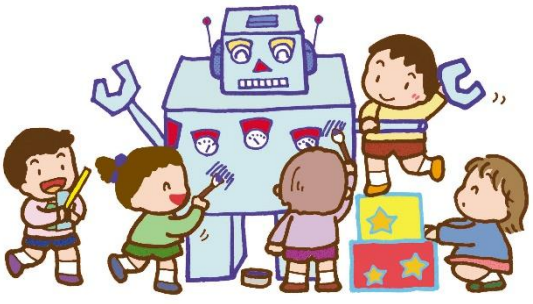
★親しみを持って、日常のあいさつをする。

★絵本や物語などに親しみ、興味を持って聞き、想像をする楽しさを味わう。



《表　現》

豊かな感性を育て、感じたことや考えたことを表現する意欲を育て、創造性を豊かにします。



★友達と一緒に音楽を聞いたり、歌ったり体を動かしたり、楽器を鳴らしたりして楽しむ。



★感じたこと、思ったこと、想像したことなどさまざまな素材や用具を使って自由に描いたり作ったりすることを楽しむ。

★童話、絵本、視聴覚教材などを見たり聞いたりして、イメージを広げ、描いたり作ったり様々に表現して遊ぶ。



★身近な生活経験を「ごっこ遊び」に取り入れて遊ぶ楽しさを味わう。





発達のめやす【1 歳～４歳】

	１歳→２歳	２歳→３歳	３歳→４歳
食事	・こぼしながら自分で食べる。 ・噛む、飲み込めるができるようになる。 ・哺乳瓶をやめコップで飲めるようになる。	・食事の時間は座って食べることができる。 ・スプーンを使って食べる。	・はしを使って食べる。 ・行儀よく食べることができる。
排泄	・自分で便器に座れる。 ・排泄があることを言葉で伝えられる（シーシー、ウンウンなど）。	・排尿、排便を知らせ便所でする。	・自分から便所に行き排泄する。 ・紙を使う。
着脱衣	・一人で靴が脱げ、はこうとする。 ・パンツが脱げる。 ・パンツがはける。	・簡単なもの（パンツ、ランニング）は一人で着脱する。 ・ボタンのはめはずしをする。	・ボタンのはめはずしが上手にできる。 ・自分で着脱する。 ・脱いだ衣類を所定の場所に置く。
言語	・自分の知っている物の名前があると言ったり、指をさしたりする。 ・ちょうだい、かして、いや、ない、などが言える。	・日常の簡単なあいさつができる。（おはよう、さようなら、ありがとう、ごめんなさい） ・してほしいことや、したいことを話す。 （〇〇かしてなど）	・なぜ、どうしてなどの質問がたくさん出る。 ・絵本やお話、紙芝居などを喜んで見たり聞いたりする。 ・したいこと、してほしいことを言葉で言えるようにする。
運動	・歩行の完成 ・歩行を中心として押す、引っ張る、のぼる、おりる、すべる、もぐる、またぐ、しゃがむなどの運動をして遊ぶ。	・両足とびができるようになる。 ・階段のぼりなどがしっかりできるようになる。	・歩く、走る、飛ぶなどの基本的な運動機能が確実になる。 ・片足立ちなどバランスをとっての運動ができるようになる。
備考			

発達のめやす【４歳～６歳】

	４歳→５歳	５歳→６歳
食事	・はしが正しく持てる。 ・よい姿勢で正しく持ち、こぼさずに食べる。 ・一定時間内（３０分）に食べ終わる。 ・嫌いなものでも食べられる。	
排泄	・大便の後始末ができる。 ・衣類や便所を汚さないで排泄できる。	・一日の排便のリズムを整えていく。
着脱衣	・衣類の裏、表、前、後がわかる。 ・ひもを堅結びに結ぶことができる。 脱いだ衣類の裏返しを直したり、着替えやすいようにたたんでおける。	・ちょうちょ結びができる。
言語	・遊びや日常生活に必要な言葉を正しく使う。	・身近な文字に興味や関心を持つ。
運動	・スキップやケンケン飛びができるようになる。 ・ボールを投げたり、受けたり、ついたりなどができるようになる。	・歩く、走る、飛ぶ、投げるなどが機敏にできるようになる。 ・縄跳びで連続とび、大縄跳びができるようになる。 ・鉄棒の前まわりができるようになる。
備考		

気持ちよく園生活をおくるために

保 護 者 の 方 へ お 願 い

お子様が気持ちよく園生活をおくるためには、家庭と園が連絡しあうことが一番良いことです。次のことについてご協力をお願いします。

① 朝の食事は、きちんととるようにしてください。
夜更かしなどはさせないようにしてください。
・朝食をとってこないお子様は、調子がおかしくなることもあります。
・寝不足ですと、機嫌が悪くなり、園生活に慣れるのが遅れます。

② 園についたらこれだけはしてください。
オムツがぬれていないか、また、大便をしていないか確認してください。
・下痢がひどいときや体調の悪い時はお預かりできません。

③ お子様が病気などで休まれるときは、必ず連絡してください。
（午前９時までにお願いします。）
よくなって登園された時も、その状態を詳しく教えてください。
・熱を薬でおさえたときは、午後になるとまた出たりすることがあります。
・いつもに比べて機嫌が悪い時などもお願いします。

④ 寝るとき、食べるときの「くせ」があれば、どんなことでも教えてください。
・お子様のいろいろな「くせ」を知って気持ちのよい生活ができるように心がけます。

⑤ 排泄の習慣やくせを担任によくわかるように教えてください。
・「チイ」といったり、足をもぞもぞしたりするなど、お子様の家庭でのしつけはそれぞれ違います。

⑥ お子様の衣類や持ち物には、必ず名前を書いておいてください。
・洗濯しても消えないように、糸で刺しゅうするか、油性のマジックペンで記入してください。
・園生活は、脱いだり着たりすることが多いので、わからなくなってしまします。

⑦ 入園したころは泣くこともありますが、お子様との別れ際が大切です。
・個人差はありますが、おおよそ３～４週間で園に慣れてきます。

⑧ お子様のことについて、家族で話し合って意見が違わないようにしておいてください。
・意見の食い違いは、お子様の気持ちが混乱したり、親の顔を見て行動するようになったりすることもあります。

⑨ 育児書にあるのは活字です。育児書通りにはいかないこともあります。
どんなことでも担任にご相談ください。
・園と家庭との相互関係がなくては、お子様は安心して生活できません。お子様にとってよいことはできるだけ取り入れます。

⑩ 送り迎えの時間は必ず守ってください。
・遅くなるときは、必ず連絡してください。

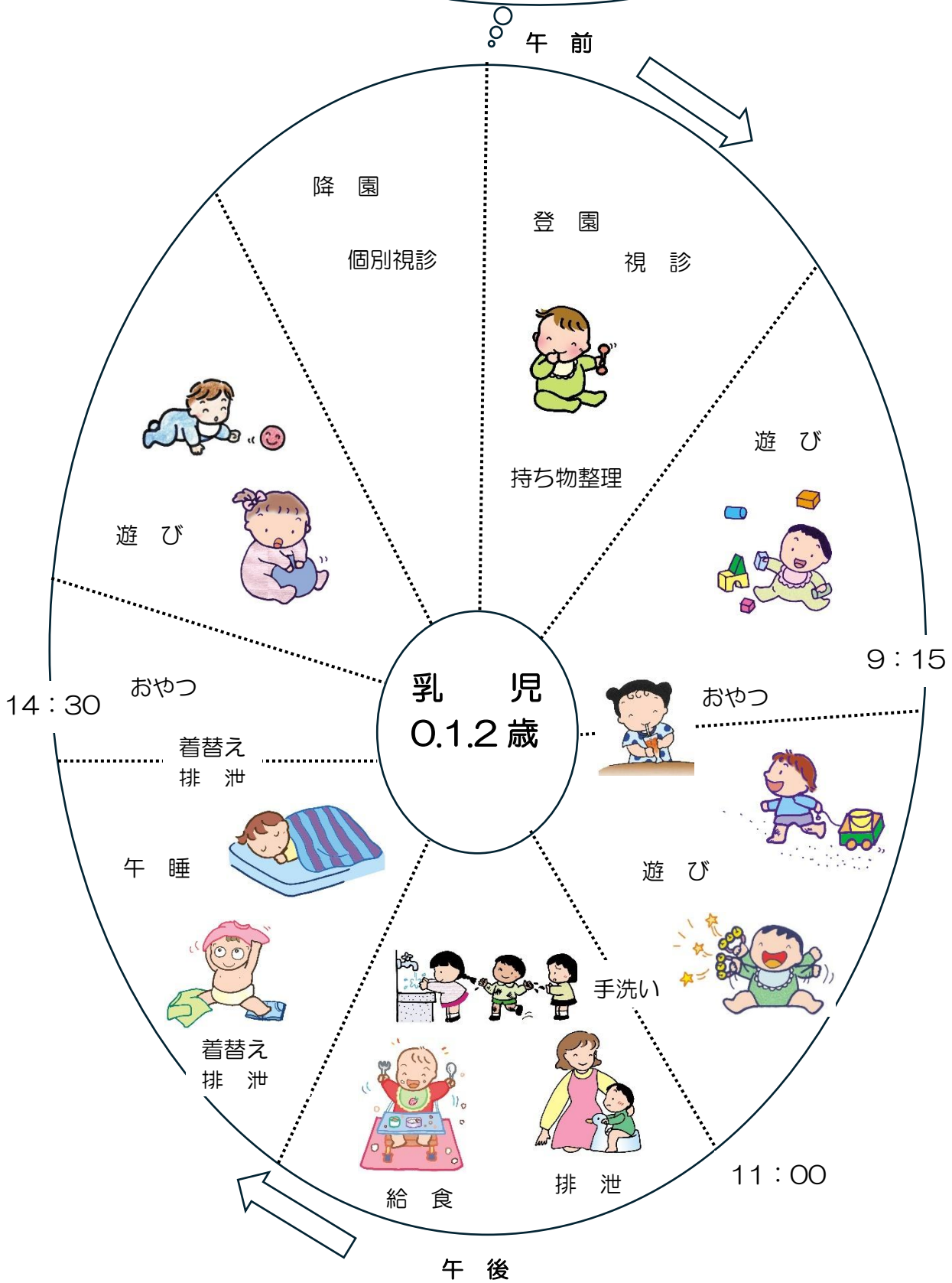
※家庭と園がしっかり手をとりあっていかなければなりません。健康でよい子を育てるために、お互いに頑張りましょう。







こどもえんのいちにち　乳児



こどもえんのいちにち幼児（１号認定）

午　前

登　園

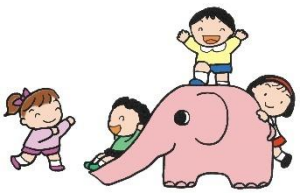
視　診



持ち物整理

遊　び

（健康、人間関係、環境、言葉、表現）







片付け
手洗い
排　泄





給　食



11：30

午　後

降　園

個別視診

14：30

遊　び

（健康、人間関係、環境、言葉、）

幼　児
3.4.5 歳
１号認定

こどもえんのいちにち幼児（２号認定）

午　前

登　園

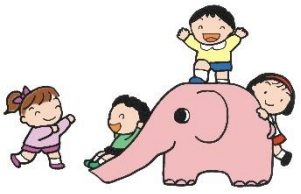
視　診



持ち物整理

遊　び

（健康、人間関係、環境、言葉、表現）







片付け
手洗い
排　泄





給　食

11：30

午　後



遊　び

（健康、人間関係、環境、言葉、）



おやつ

14：30

幼　児
3.4.5 歳



子どものかかりやすい感染症

病名	潜伏期間	主な発病症状	隔離する期間 休ませる期間 （医師の指示）	予防法	免疫	医師の証明書の有無
麻しん （はしか）	９日～ １３日	発熱、咳、くしゃみ、結膜炎（目やに）	解熱後３日を経過 （２週間）	予防接種	終生	有
風　疹 （三日はしか）	14 日～ 21 日	軽い風邪ぎみの発熱とともに発疹	発疹の消えるまで （５日～７日）	予防接種 中学２年 女　子	終生	有
水痘 （水ぼうそう）	14 日～ 21 日	発熱を伴い、かゆみのある発疹ができる	かさぶたがとれるまで （７日～10 日）	なし	終生	有
流行性 耳下腺炎	１４日	発熱、嘔吐、耳の下が腫れ痛みを伴う	耳の下の腫れが完全にひくまで	予防接種	終生	有
百日ぜき	７日～ １４日	熱、咳の回数が次第に多くなる。夜間に多い	最盛期を過ぎて ２～３週間	予防接種	終生	有
インフルエンザ	１日～ ３日	発熱、関節痛、咽頭痛、咳	発症後５日経過かつ解熱後２日経過	予防接種	１年～ ２年	有
流行性角結膜炎	３日～ ４日	多量の黄色の目やにが出て結膜が充血する。	結膜炎の症状が消失していること	なし	なし	無
とびひ	１日～ ２日	水泡、かさぶた、かゆみ	症状が消えるまで	なし	なし	無
手足口病	３日～ ８日	風邪様症状、皮膚、特に手足に発疹があらわれ口内炎がおこる。	医師の許可を受ける	なし	なし	無
溶連菌感染症 （しょうこう熱）	２日～ ７日	熱、発疹	医師の許可を受ける	なし	なし	無
乳児嘔吐下痢症		白色便下痢（水よう性下痢）	下痢が消失するまで	なし	なし	無
伝染性紅斑 （りんご病）	10 日～ 14 日	熱、保保、手足、タイダイ部に発疹、紅斑	症状の消えるまで	なし	なし	無
プール熱	７日～ １４日	熱、結膜炎、咽頭炎	症状の消えるまで	なし	なし	無
腸管出血性大腸菌感染症（0157、026、0111 等）	４日～ ８日	激しい腹痛を伴う頻回の水様便の後に血便が出現する。	医師により感染のおそれがないと認められていること。（無症状病原体保有者の場合、トイレで排泄習慣が確立している５歳以上の子どもについては、２回以上連続で便から菌が検出されないこと。	なし	なし	無
急性出血性結膜炎	１日	突然の強い目の痛み、異物感、結膜の充血、頭痛、発熱、呼吸器症状	医師から感染の恐れがないと認められていること。	なし	なし	無
侵襲性髄膜炎菌感染症（髄膜炎菌性髄膜炎）	２日～ １０日	頭痛、発熱、髄膜刺激症状、痙攣、意識障害	医師から感染の恐れがないと認められていること。	なし	なし	無



《参　考》

1．絵本袋



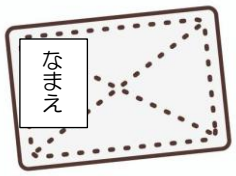
いろいろな用品を持って帰るときに使います。
縦２８ｃｍ～３０ｃｍ程度
横３５ｃｍ～３８ｃｍ程度
※必ず名前を書いてください。

2．手拭きタオル



下げられるようにひもをつけてください。
毎日持ち帰ります。

3．雑巾



おおよそタオル４つ折り
ぐらいの大きさ

4．上靴（バレーシューズ）



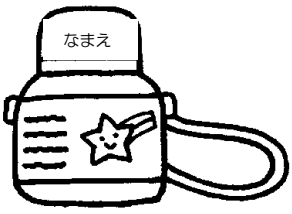
２歳児から使用します。

5．コップ



昼食後うがいをします。必ず名前を書いてください。
毎日持ち帰りますので、
洗って翌日にまた持たせてください。

6．水筒



水筒にお茶を入れて毎日持ってきてください。
お茶以外の飲み物（水やジュースなど）は、
入れてこないようにしてください。散歩などに
持って出かけるときもありますので、肩紐を
つけてください。

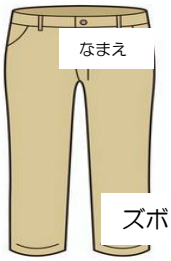
7． 着替え用の衣服について　　<u>※必ず名前を書いてください。</u>

０歳～２歳　…　布製の袋に着替えを３～５組、まとめて入れて持ってきてください。（別の袋にエプロン・口拭きタオルをそれぞれ多めに入れたものもお願いします。０、１歳児）
これらは、中身が不足してきましたら、袋をお返ししますので、次の日に補充してまた持ってきてください。
スーパーの袋（汚れ物入れ）も多めに持ってきて下さい。

３歳以上児　…　着替えを２～３組（布製の袋にまとめて入れる）とスーパーの袋（汚れ物入れ）２枚ぐらいを持たせて下さい。
汚れて持ち帰りましたら、必ず次の日にかわりの着替えを持ってきて下さい。スーパーの袋はいつもカバンに入れておいて下さい。



パンツ２枚



ズボン



上着





汚れ物入れ



靴下（冬のみ）



お知らせ・お願い

連絡について

・欠席や遅れる場合は９時００分までに必ず連絡をしてください。
・出席ノート、名札の裏に住所、保護者名、緊急時の連絡先などを記入してください。
・緊急連絡先や携帯番号の変更があれば随時連絡をお願いします。
・保育中の発熱（３７．５度以上）や異常のあった場合には、緊急連絡先へお電話させていただきます。

服装について

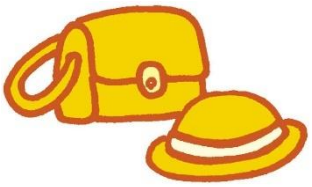
・名札はいつもつけてください。
・着替え・上着（ジャンパー）・肌着・くつ下など持ち物には、すべて名前を書いてください。
・乳児の誤飲などきけんがあるため、ヘアピンの使用をやめ、ゴムの使用にご協力をお願いします。
・遊び着は常時着用できるようにしてください。
・紅白帽子を持ち帰りましたら、洗濯・ゴムの補正をして、また持たせてください。

持ち物について

・箱ティッシュは共同使用をしています。必要に応じて定期的に集めさせていただきます。
・おもちゃやお菓子をもたせないようにしてください。
・お薬のある場合は、必ず名前を書いて１回分だけを持ってきてください。（水薬も同様に）そして必ずお家の人の手紙か伝言をお願いします。（薬の連絡票も必要です。）
・食事の際、ウェットティッシュを使います。必要に応じて定期的に集めさせていただきます。（２歳児以上）

＜毎日持ってきていただくもの＞

・出席ノート
・おたよりファイル
・連絡ノート
・水筒
・名札
・手拭きタオル
・スプーン、フォーク、おはしセット（２歳児）
・コップ（２歳以上児）
・おはし（２歳以上児）



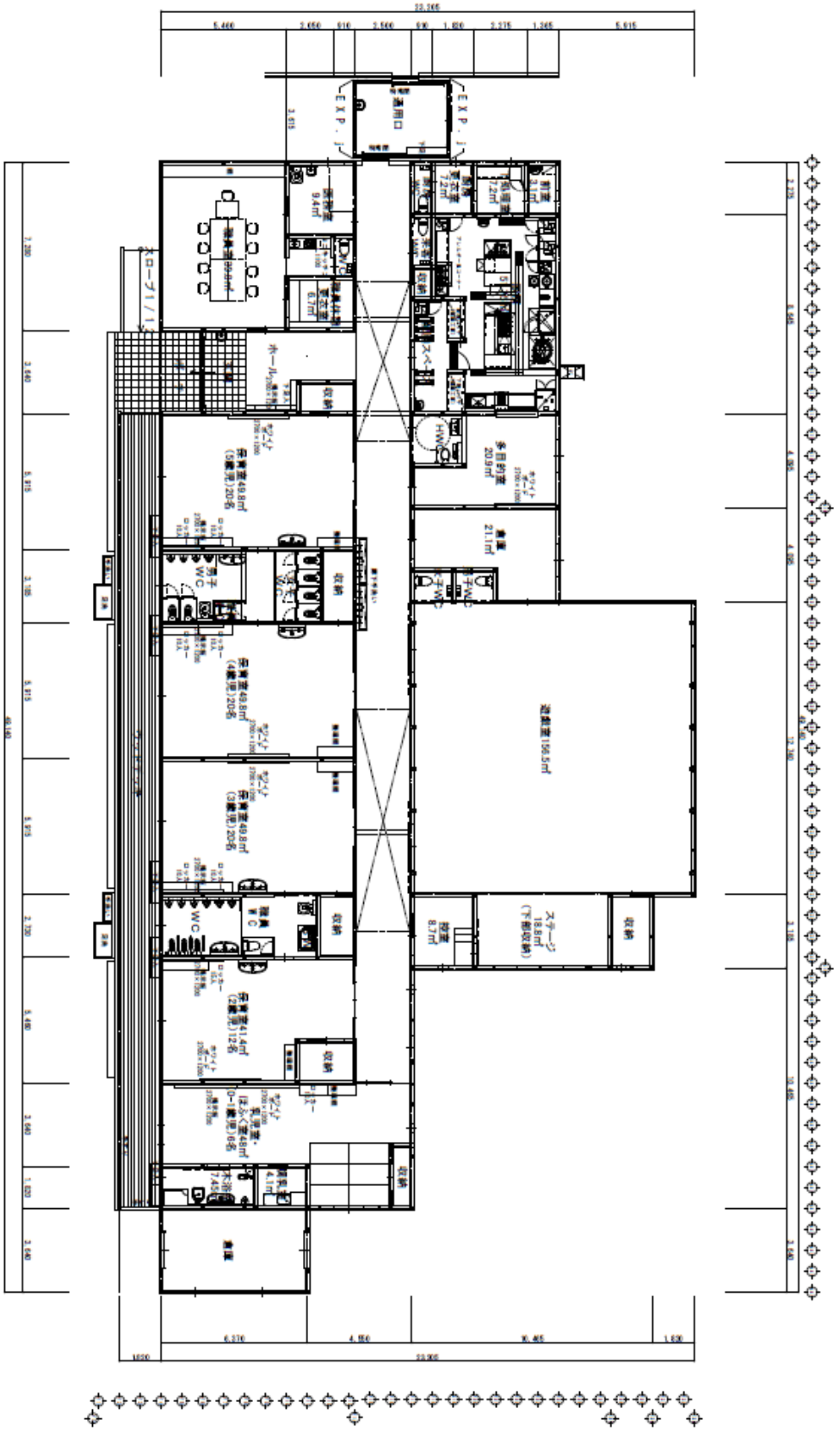


その他の注意

・土曜日は、半日保育のため、土曜保育をご希望された方は 12 時までに迎えに来てください。
・朝９時 30 分から午後３時 30 分までは、子どもたちが園庭で遊びますので、フェンスのカギを閉めさせていただきます。ご用の方はインターホンをご利用ください。
・下靴は履きやすい運動靴にしてください。
・傘、長靴は自由です。
・入園当初の２週間は、慣らし保育として早めの降園になりますので、昼食が終わった 12 時 30 分から 13 時ごろまでに迎えに来てください。
・保護者会費を奇数月に集めます。集金袋をお渡ししますので、それに入れて持ってきてください。
・主食代（毎日の主食分）は毎月８００円を集めます。集金袋をお渡ししますので、それに入れて持ってきてください。（3 歳以上児のみ）
・土曜日保育を利用された場合のパン等の費用として１回１３０円を集めます。集金袋をお渡しｓますので、それに入れて持ってきてください。（３歳以上児のみ）

★持ち物にはすべて名前を書いてください。
★わからないことがありましたら、園へおたずねください。
　あんぜんの丘こども園　0595-82-0782





平面図 S：1／200